

所 属	林政部森林経営課			林政部森林保全課		
係 名	整備係	内線	4383	治山係	内線	4416

～災害に強い循環型の森林づくり～  
**激甚化する災害に備えた山地防災力の維持・強化**

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞ 3（1）一部

1 事業費 4, 246, 300（前年度 3, 261, 024）

**【財源内訳】**

**【主な用途】**

国庫	1,819,050	工事請負費	3,872,100
県債	2,173,500	委託料	287,700
繰入金	20,000	補助金	82,000
一般財源	233,750	補償費	4,500

2 背景・事業目的

近年の気候変動により、頻発化、激甚化の傾向にある豪雨災害から、県民の生命・財産を守り林業の振興を図るため、治山施設と森林整備を組み合わせた山地防災力の維持・強化と災害に強い森林作業道の整備を推進する。

3 事業概要

(1) 治山施設と森林整備を組み合わせた事前防災地区による面的防災力の強化（585,300千円）

山地防災力の強化を図るため、市町村や林業事業者と連携した事前防災地区を設定し、間伐などの森林整備と、不安定土砂の移動を防ぐダムの設置等の治山対策を総合的に行う。

(2) 山地災害危険地区における治山施設整備の推進（3,656,000千円）

近年の集中豪雨による土石流や流木被害に対し、防災・減災、国土強靱化対策として、災害発生リスクが高い山地災害危険地区において治山施設の整備を進める。

(3) 災害に強い作業道づくりの推進（5,000千円）

木材搬出等を予定している既設森林作業道について、路盤や排水処理施設の整備等機能強化を支援し、安全性や耐久性を向上させる。

- ・補助対象者：森林作業道の管理者 等
- ・補助額：県が定める単価以内、補助限度額：1路線1,000千円

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (4) 林道費 (明細書事業名) ○単独事業 林道開設等事業費
(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (5) 治山費 (明細書事業名) ○公共事業 治山事業費 他

所 属	林政部森林経営課		
係 名	整備係	内線	4383

～災害に強い循環型の森林づくり～

100年先を見据えた森林づくりの方向性と仕組みづくり

＜森林整備支援等基金事業＞ 3（3）

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞ 3（5）一部

1 事業費 3,948,566（前年度 3,911,726）

【財源内訳】

【主な使途】

国庫	2,873,513	補助金	3,920,045
繰入金	336,770	委託料	24,231
一般財源	736,569		
その他	1,714		

2 背景・事業目的

100年先の望ましい森林の姿を示す「森林配置計画」に沿った森林づくりを促進するとともに、花粉発生源のスギ人工林を国が定める10年後に約2割減少させることを目指して、花粉発生源対策に取り組む。

3 事業概要

(1) スギ人工林における主伐・再造林への支援（445,348千円）

新たに拡充されたスギ花粉症対策の国の補助事業を活用し、獣害を受けたスギ人工林等の主伐・再造林に要する経費を助成する。

・補助対象者：市町村 等、補助率：4/10 等

**新** (2) 花粉の少ないスギ等の種子増産に向けた体制整備（28,521千円）

花粉の少ないスギ等の種子の増産を図るため、林木育種事業地の採種園の整備を進めるとともに、岐阜県由来の少花粉ヒノキの品種の生産に向け、材質が東濃松の特徴に合致するか検証する。

**新** (3) 低コスト再造林を推進する基金団体への支援（2,375千円）

低コスト再造林を推進するため、地域で組織された再造林基金団体を対象に、再造林支援等に要する経費を助成する。

・補助対象者：再造林基金団体、補助率：1/2 以内

(4) 再造林にかかる獣害対策への支援（8,535千円）

シカ等による苗木の食害や、クマ等による立木の樹皮被害を防ぐため、忌避剤の散布やテープ巻き等に要する経費を助成する。

・補助対象者：市町村 等、補助率：1/2 以内

(5) 環境保全林等における間伐等への支援（3,463,787千円）〔一部再掲〕

「森林配置計画」の配置区分である木材生産林や環境保全林の目的に沿った間伐等の森林整備に要する経費を助成する。

・補助対象者：市町村 等、補助率：4/10 等

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (6) 森林整備費  
(明細書事業名) ○公共事業 造林事業費 他



所 属	林政部 森林経営課		
係 名	担い手企画係	内線	4389

## 森林技術者の確保・育成・定着

＜森林整備支援等基金事業＞ 3 (1)、(2) 一部、(3)、(4)、(5)

1 事業費	62,808 (前年度 33,975)			
	【財源内訳】		【主な使途】	
	国庫	25,300	補助金	60,108
	繰入金	37,508	委託料	2,700

### 2 背景・事業目的

「森のジョブステーションぎふ」が核となり森林技術者の確保・育成に取り組んでいるが、離職者も多く、このままでは林業の担い手不足の解消が困難な状況となっている。

このため、林業の魅力が強力に発信し、林業の担い手となる就業希望者を増加させるとともに、森林技術者の離職防止対策を強化する。

### 3 事業概要

#### 新 (1) 全国の若者に向けた林業の魅力発信 (10,583 千円)

林業に関連するインフルエンサーを「岐阜県きこり大使 (仮称)」に起用し、SNSを活用した動画の配信などにより、林業への就業に向けた魅力を発信する。

#### (2) 森林文化アカデミー学生や移住者への林業就業支援 (35,050 千円)

林業への就業に向けた知識と技術の習得が必要な森林文化アカデミーの学生や県外から移住し林業に就業した者に対し就業支援金を給付する。

・給付額：学生 115 万円、単身 60 万円、世帯 100 万円

#### 新 (3) 人材育成と安全教育を行う「フォレスタースクール (仮称)」の実施 (2,700 千円)

「森のジョブステーションぎふ」を森林文化アカデミーへ移転し、連携することで、ICTやVRなどの最新技術を取り入れた森林技術者の育成や林業労働災害を防止するための安全教育を行う「フォレスタースクール (仮称)」を実施する。

#### 新 (4) 架線技術者の育成 (7,500 千円)

木材生産を拡大するため、急峻な地形で作業道等の整備が困難な森林から木材を搬出できる架線技術のOJT研修を支援する。

#### (5) 森林技術者の離職防止対策 (6,975 千円)

「森のジョブステーションぎふ」が相談窓口の中心となり、林業技術の相談に対応するとともに、森林技術者同士のコミュニケーションの活性化を図る交流会を実施する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (6) 森林整備費 (明細書事業名) ○林業労働者就業対策費 林業就業促進総合対策事業費 他
--

所 属	林政部県産材流通課		
係 名	加工流通係・消費対策係・販路拡大係	内線	4365・4366

## 都市の木造化・脱炭素社会の実現に向けた県産材の需要拡大

1 事業費 549,028（前年度 240,368）

【財源内訳】 【主な使途】

国庫	56,838	補助金	510,594
一般財源	490,990	委託料	33,008
諸収入	1,200		

### 2 背景・事業目的

県民や事業者の県産材利用への理解を深めるため、令和5年4月に「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例」を施行した。

条例に基づき、建築物等への県産材利用の促進、輸出の促進、県民及び事業者への理解の醸成などを図り、県産材の需要拡大を推進する。

### 3 事業概要

#### 新 (1) 県産材の利用促進に向けた魅力発信（17,500千円）

家具や建材などの木製品の紹介や木に触れる体験の提供などにより、県産材の魅力を発信するイベントを開催する。

#### (2) 協定に基づく非住宅での木造化・内装木質化、木製品導入等への支援（408,794千円）

県と協定を締結した事業者が行う木造化、内装木質化などの県産材を利用する取組みに要する経費の一部を助成する。

#### 新 (3) 欧州等の新たな国に向けた輸出促進（11,000千円）

付加価値の高い木製品等の新規輸出先国への販路開拓に向け、現地プロモーション拠点の設置や商談会、輸出に必要な知識に関する研修会などを実施する。

#### (4) 首都圏、関西圏への販路拡大（9,334千円）

東京・大阪で開催される住宅資材等の展示会に出展し県産材製品のPRを行うとともに、首都圏・関西圏の工務店等に対し県産材製品の斡旋等を行う相談窓口を設置する。

#### (5) 県産材を活用した住宅への支援（102,400千円）

木造住宅の新築又はリフォームにおいて、構造材や内装材に県産材を一定量以上使用した建築主や、県産材住宅の建設拡大に向けた活動を行う産直住宅建設団体を支援する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費 (明細書事業名) ○木材利用推進対策費 木の香る環境づくりぎふ推進費 他
---

所 属	林政部県産材流通課			林政部森林経営課		
係 名	加工流通係・販路拡大係	内線	4365・4366	スマート林業推進係	内線	4387

～DXの推進による林業・木材産業改革～  
**需要に合わせ柔軟かつ迅速に対応する**  
**木材サプライチェーンの構築**

＜森林整備支援等基金事業＞ 3（1）（3）一部

1 事業費 378,609  
（前年度※R4.3月補正含む 129,285）

【財源内訳】	【主な用途】
国庫 363,946	補助金 374,450
繰入金 1,000	
一般財源 13,663	

2 背景・事業目的

ウッドショックのような急激な需給変動や、輸入材から国産材への転換に対応するため、県産材の安定供給が求められている。

このため、木材生産から加工流通過程のデジタル化や、その情報を基に需給調整を行う体制の構築、品質の確かな製材品の増産を支援し、木材需要の変化に迅速に対応する木材サプライチェーンの構築を促進する。

3 事業概要

(1) ICT等を導入する事業者への支援 (7,720 千円)

ICTをはじめとした新技術の活用により、森林資源調査の効率化や林業の労働負荷軽減、安全性向上に取り組む林業事業者を支援する。  
また、業務改善を促進するため、専門家の派遣を実施する。  
・補助対象者：林業事業者等、補助率：1/2 以内

(2) 住宅建築情報や木材需給情報を共有するシステム構築への支援  
(17,000 千円)

県産材住宅の建設促進に向け、サプライチェーンを構築して県産材の需給調整や、販路拡大などに取り組む団体に対し助成する。  
また、木材生産から加工流通過程の効率化を図るため、生産工程管理や受注管理等のデジタル化に取り組む事業者を支援する。

(3) DXに取り組む事業者を対象とした研修会の開催 (3,439 千円)

ICTをはじめとした新技術の活用による業務効率化に向け、林業・木材関係事業者を対象とした研修会を開催する。

(4) 輸入材から県産材の転換に向けた支援 (350,450 千円) 3月補正含む

輸入材の代替となる品質、性能が証明された木材製品の安定供給体制を強化するため、木材加工施設等の整備に対し助成する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費 (明細書事業名) ○ 林業・木材産業構造改革事業費 林業・木材産業構造改革事業費 他
---

所 属	林政部林政課			林政部森林経営課		
係 名	政策企画係	内線	4313	林道係・スマート林業推進係	内線	4387

～DXの推進による林業・木材産業改革～  
木材の安定供給と森林所有者への利益還元

1 事業費 1,930,907 (前年度 1,688,595)

【財源内訳】

【主な使途】

国庫	928,591	工事請負費	1,050,294
県債	609,900	補助金	760,226
負担金	7,294	委託料	117,341
一般財源	385,122		

2 背景・事業目的

需給変動に柔軟かつ迅速に対応した原木の効率的・安定的な供給と森林所有者への利益還元を図るため、林業事業体による森林資源の在庫管理や工程管理改善に取り組むとともに、林道等の整備と機械化による原木の生産基盤の強化を促進する。

3 事業概要

(1) デジタルデータを活用した森林資源の在庫管理への支援

(3,020 千円)

森林資源の在庫管理の実現に向け、航空レーザ計測結果等のデジタルデータを活用し、林業事業体が木材生産計画を作成するための手順書を整備する。

(2) 工程管理改善を図る事業体への支援 (1,000 千円)

木材生産体制を強化し生産性向上を図るため、外部指導者による指導の下、生産工程管理の改善に取り組む林業事業体を支援する。

・補助対象者：県が登録・公表する林業事業体、補助率：1/2 以内

(3) 林道等路網整備の推進 (1,922,630 千円)

市町村が行う林道の整備に要する経費を助成するとともに、基幹的な林道及び林業専用道を県が代行して整備する。

**新** (4) 欧州からの最新機械導入に向けた調査 (4,257 千円)

生産性・経済性に優れた最新の林業機械について、林業先進国のドイツ等における利用状況や本県への導入の可能性等を調査する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費 (明細書事業名) ○木材生産流通対策費 木材生産モデル団地支援事業費
(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (4) 林道費 (明細書事業名) ○公共事業 林道事業費 他
(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (2) 林業振興費 (明細書事業名) ○森林文化アカデミー費 海外連携等推進事業費

所 属	林政部森林活用推進課		
係 名	森林サービス産業支援係	内線	4345

～森林空間等を活用した森林サービス産業の育成による山村振興～  
**新たな雇用と収入を生み出す森林サービス産業の育成**

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞ 3（4）一部

1 事業費	30,731（前年度 7,651）		
	【財源内訳】	【主な使途】	
	国庫	14,404	負担金 15,090
	繰入金	1,922	補助金 12,500
	一般財源	14,405	

2 背景・事業目的

社会のデジタル化が進むなか、森林がもたらす癒しの効果や五感で自然を体験することへのニーズが高まっている。

一方、山村地域では産業の停滞や若者の流出が課題となっていることから、山村地域に新たな雇用と収入機会、関係人口を生み出す森林サービス産業を育成する。

3 事業概要

- 新**（1）「ぎふ森の体験博覧会（もりはく）（仮称）」の開催（10,000 千円）  
 森林サービス産業の育成と普及を図るため、魅力ある森の体験プログラムを発掘・育成し県内各地で実施する「ぎふ森の体験博覧会（もりはく）（仮称）」を開催する。
- 新**（2）森林を活用したビジネス創出への支援（12,500 千円）  
 森林サービス産業を実施する事業者に対し、施設整備、備品等購入、計画策定等の事業実施に要する初期費用を支援する。  
 ・補助対象者：民間事業者  
 ・補助率：1/2 以内、補助限度額：2,500 千円
- （3）「ぎふ森のある暮らし推進協議会」への支援（5,197 千円）  
 森林サービス産業の育成と普及を図るため、「ぎふ森のある暮らし推進協議会」が行う広報や会員交流会等の活動を支援する。
- （4）森林サービス産業の普及啓発と人材育成（3,034 千円）  
 森林サービス産業の普及啓発のためのセミナーや、森林空間を活用するうえで必要となる知識を習得するための研修会等を開催するとともに、事業者のPR方法や今後の事業展開などの課題解決に向けたプランナー派遣等を実施する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (2) 林業振興費 (明細書事業名) ○緑化推進費 緑化推進費
---

所 属	林政部森林活用推進課			林政部森林保全課			令和6年度担当所属名
係 名	森林吸収源対策係	内線	4346	水源林保全係	内線	4416	同左
所 属	林政部県産材流通課						令和6年度担当所属名
係 名	資源活用係			内線	4362	林政部県産材流通課・森林経営課	

## カーボンニュートラルの実現に向けた取組み

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞ 3（2）一部  
 ＜森林整備支援等基金事業＞ 3（3）一部

1 事業費 90,713（前年度 34,825）

【財源内訳】

【主な使途】

国庫 2,075 委託料 72,738

繰入金 78,547 補助金 12,150

一般財源 4,821

財産収入 5,270

## 2 背景・事業目的

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、木質バイオマス発電施設の需要が高まっているため、燃料材として期待されている早生樹の調査を行うとともに、森林に放置された未利用材の利用を促進する。

また、本県独自の森林由来のカーボン・クレジット制度である「G-クレジット制度」を本格的に運用する。

## 3 事業概要

### 新 (1) バイオマス資源林の整備に向けた早生樹の試験栽培 (2,746千円)

木質バイオマス発電施設に対し、燃料材を持続的に供給することができる森林を造成するため、早く大きく成長する早生樹の生育状況を調査する。

### (2) 木質バイオマス燃料の安定供給の促進 (11,150千円)

森林に放置された未利用材の利用を促進するため、林業事業者や市町村と地域住民等が協働して行う搬出に対し助成する。

・補助対象者：林業事業者等、補助額：定額（1,500円/m<sup>3</sup>）等

### 新 (3) 「G-クレジット制度」の本格的な運用 (71,547千円)

クレジットの取引で得られた資金を活用し、森林整備を促進するため、県内の適切に管理された森林による二酸化炭素吸収量を県が認証する「G-クレジット制度」を本格的に運用する。

### 新 (4) 県営林での「J-クレジット」の販売推進 (5,270千円)

県営林において、J-クレジット制度に基づき令和5年度に初めて認定されたクレジットの販売を開始するとともに、新たなクレジットについても更なる取得を進める。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (6) 森林整備費

(明細書事業名) ○林業労働者就業対策費 林業就業促進総合対策事業費 他

所 属	林政部森林活用推進課		
係 名	木育推進係	内線	4346

～森林空間等を活用した森林サービス産業の育成による山村振興～  
**「ぎふ木育30年ビジョン」の実現に向けた  
「ぎふ木育」の新たな展開**

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞ 3 (1) 一部、(2) 一部、  
(3) 一部

＜森林整備支援等基金事業＞ 3 (1) 一部、(2) 一部、  
(3) 一部

1 事業費 102,516 (前年度 92,055)

【財源内訳】 【主な使途】

繰入金 102,516 委託料 81,130  
需用費 10,866

2 背景・事業目的

森林・林業に対する県民の意識を醸成するため、「ぎふ木遊館」と「森林総合教育センター(morinos)」を核として、森や木に親しみ、森とのつながりや森林文化の豊かさを段階的、継続的に学ぶ機会を提供する。

3 事業概要

(1) 「ぎふ木遊館サテライト施設」等を活用した「ぎふ木育」の全県展開  
(12,719千円)

「ぎふ木遊館サテライト施設」等の運営や活動を支援するための木育指導者の派遣、木のおもちゃを活用した「移動型ぎふ木遊館」、森に親しむ体験活動を行う「森の出番プロジェクト」を実施する。

また、地域で活動する木育・森林環境教育の指導者が情報交換を行う交流会の開催や民間事業者のノウハウを活用した地域版木育・森林環境教育プログラムの開発を実施する。

(2) 「ぎふ木育」指導者等の養成 (8,571千円)

「ぎふ木遊館」や「morinos」において、木育や森林環境教育に係る指導者の養成及びスキルアップに向けた研修を実施するほか、ぎふ木育ひろばの職員を対象としたフォローアップ研修を県内各地で実施する。

(3) 多様な木育プログラムの実践 (81,226千円)

「ぎふ木遊館」における木のおもちゃでの遊び等の木育体験や、「morinos」における森林環境教育体験により、魅力的で多様なプログラムをあらゆる世代を対象に実施する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (2) 林業振興費  
(明細書事業名) ○緑化推進費 緑化推進費

所 属	林政部林政課			林政部県産材流通課		
係 名	政策企画係	内線	4313	資源活用係	内線	4362

## きのこなどの特用林産物の振興

- 1 事業費 12,216 (前年度 2,200)
- 【財源内訳】                      【主な使途】
- 国庫            9,166      補助金    12,116
- 一般財源    3,050

### 2 背景・事業目的

原木などのきのこ生産資材の不足や価格高騰により需給バランスが崩れつつあるため、岐阜県産の原木やきのこの生産資材の調達を支援する。

また、薪ストーブ等の普及により薪の需要が増加しているため、薪生産者が行う施設整備を支援する。

### 3 事業概要

#### (1) 岐阜県産原木及び生産資材の購入支援 (10,616 千円)

3月補正含む

生産者団体に加入する生産者が、県産材のしいたけ原木を共同購入する場合に助成するほか、きのこ生産者が購入する生産資材の高騰分に対し助成する。

- ・補助対象者：20,000 本以上の原木を調達する生産団体  
生産資材を購入するきのこ生産者
- ・補助額：定額

#### 新 (2) 高級菌根性きのこ栽培に関する技術開発 (100 千円)

令和5年10月に国内で初めて人工的に発生させることに成功した黒トリュフについて、その栽培技術を確立するため、キノコを短期間で安定的に発生させる技術の開発を行う。

#### 新 (3) 薪生産者を対象とした設備導入への支援 (1,500 千円)

薪の材料となる原木の大径化に対応するため、国の補助事業対象とならない小規模な薪生産者等が行う施設整備に対し助成する。

- ・補助率：1/2 以内、補助限度額：1,500 千円

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費 (明細書事業名) ○特用林産振興推進費 特用林産需給安定対策推進費
(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (8) 森林研究費 (明細書事業名) ○森林研究所費 県単試験調査費

所 属	林政部森林活用推進課	環境生活部環境生活政策課
係 名	森林活用係 内線 4343	管理調整係 内線 2914

## 「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用した自然環境の保全・再生 <清流の国ぎふ森林・環境基金事業>

1 事業費	1,220,389 (前年度 1,250,123)
	【財源内訳】
	【主な使途】
繰入金	1,220,389
	補助金 966,025
	委託料 126,374
	工事請負費 30,000

### 2 背景・事業目的

管理不足の森林の増加、外来生物の繁殖、水環境の悪化などにより、森林や河川の持つ公益的機能の低下が懸念されている。

このため、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、自然環境の保全・再生に向けた取組みを行う。

### 3 事業概要

#### (1) 森林部門 (855,129 千円)

奥地水源林の間伐、危険な樹木の除去、被害森林等での早生樹の植栽等の森林整備を支援する。また、自然環境保全のための人づくりや仕組みづくりを推進するため、啓発効果の高い公共施設等の木造化・内装木質化を支援するとともに、森や木、川に関する環境教育や「ぎふ木育」に取り組む。

#### (2) 環境部門 (331,760 千円)

鳥獣被害対策として、ニホンジカやカワウ等の捕獲を支援するとともに、岐阜大学と共同で被害対策を推進する。また、自然生態系の保全のための河川清掃や魚道の改修等を行うほか、「脱炭素社会ぎふ」を支える人づくりとして、環境問題について体験・交流することにより行動変容につなげる環境学習プログラム等を実施する。

#### (3) 共通部門 (33,500 千円)

地域のニーズに沿った自然環境保全活動を促進するため、地域団体等が自ら企画・立案・実行する創意工夫を凝らした森づくりや川づくり活動の取組みを支援する。また、外部有識者等で構成する第三者機関の設置等により、基金事業の透明性を確保する。

(款) 6 農林水産費 (項) 5 林業費 (目) (6) 森林整備費 (明細書事業名) ○単独事業 造林事業費 他
---